

学校だより 1月号

令和7年1月6日発行

和歌山市立楠見東小学校

年頭にあたって

学校長 塩谷 裕子



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、本校の教育にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。本年も変わらぬご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ3学期を迎え、各学年とも締めくくりの段階に入ります。この節目の中で、子どもたちは「今年こそは」と新しい年の夢をえがいたり、目標を立てたりしていることと思います。夢や目標は、1年生にとっても、卒業を前にした6年生にとっても、その後の成長に重要な役割を果たします。特に3学期は、1年間の総まとめの時期として、次の年度に確かにつなげる力を育てることを大切にしたいと思います。

今学期も本校の子どもたちが心身ともに健康で、勉強に、活動に楽しく取り組みますよう、教職員一同全力で努力してまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



「千里の行も足下より始まる」（せんりのこうもそっかからはじまる）という老子の言葉があります。どんなに遠くて大きな目標でも、小さな一歩から始めることが大切だという意味です。例えば、すごく大きな山に登りたいと思っても、いきなり山の頂上にはいけません。まず一歩を踏み出して、少しずつ登っていくことで、やがて頂上にたどり着けるのです。大きなことを成し遂げるためには、小さなことからコツコツ始めようという教えです。勉強やスポーツなど新しいことに挑戦するときには、「千里の行も足下より始まる」を参考にして取り組んでみてください。